

東京ホームタウン大学 地域参加へ「新たな一步の踏み出し方」

一般社団法人定年後研究所 所長 池口武志

1963年生 1986年日本生命入社 長く管理職として多様な人材育成に係る
2016年 キャリア研修を手掛ける星和ビジネスリンクに出向
3年前から定年後研究所所長を務める

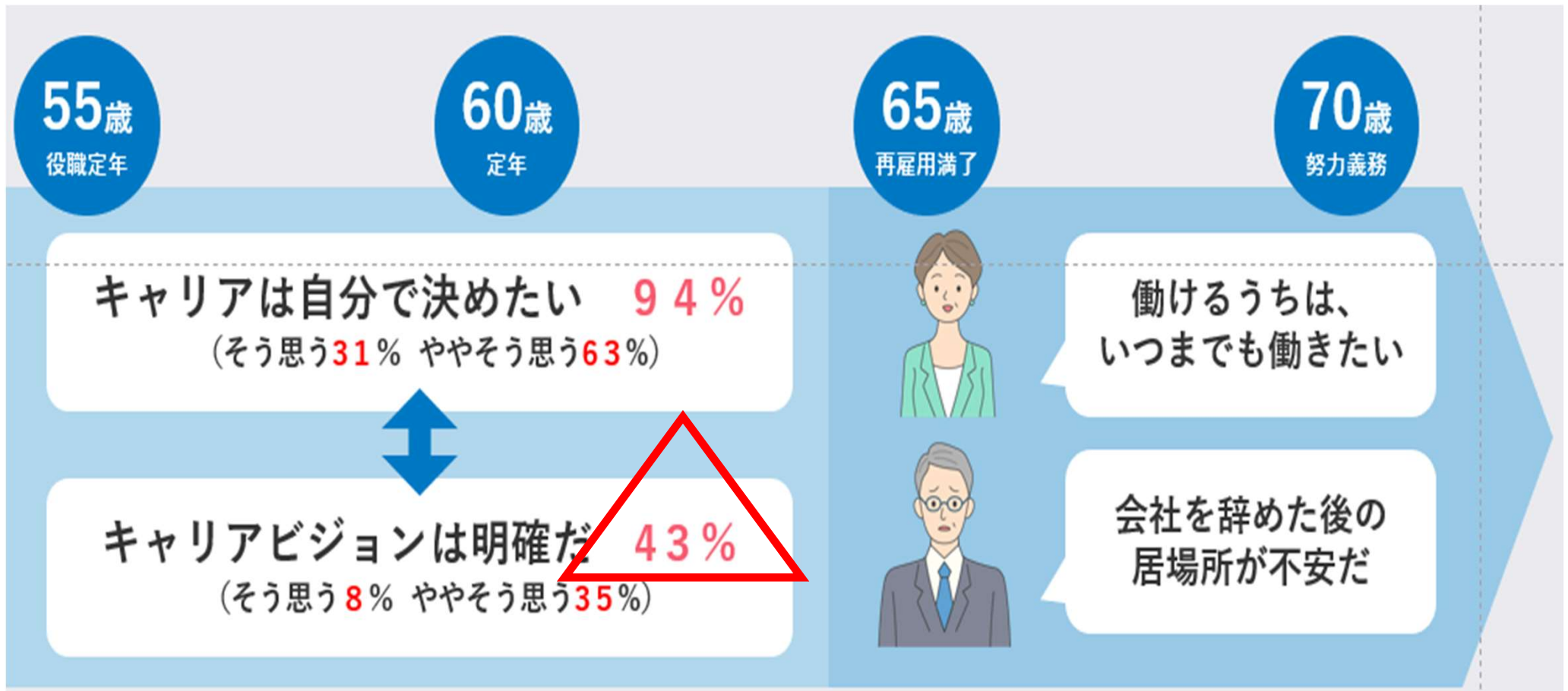
キャリアコンサルタント、AFP（ファイナンシャルプランナー）、
消費生活アドバイザー

2023年3月 桜美林大学大学院老年学修士（還暦で卒業：研究テーマ「定年前後期のキャリアチェンジの成功プロセス」）

日本心理的資本協会理事 シニア社会学会会員
著書に「定年NEXT（廣済堂新書）」
「人生の頂点は定年後（青春新書）」

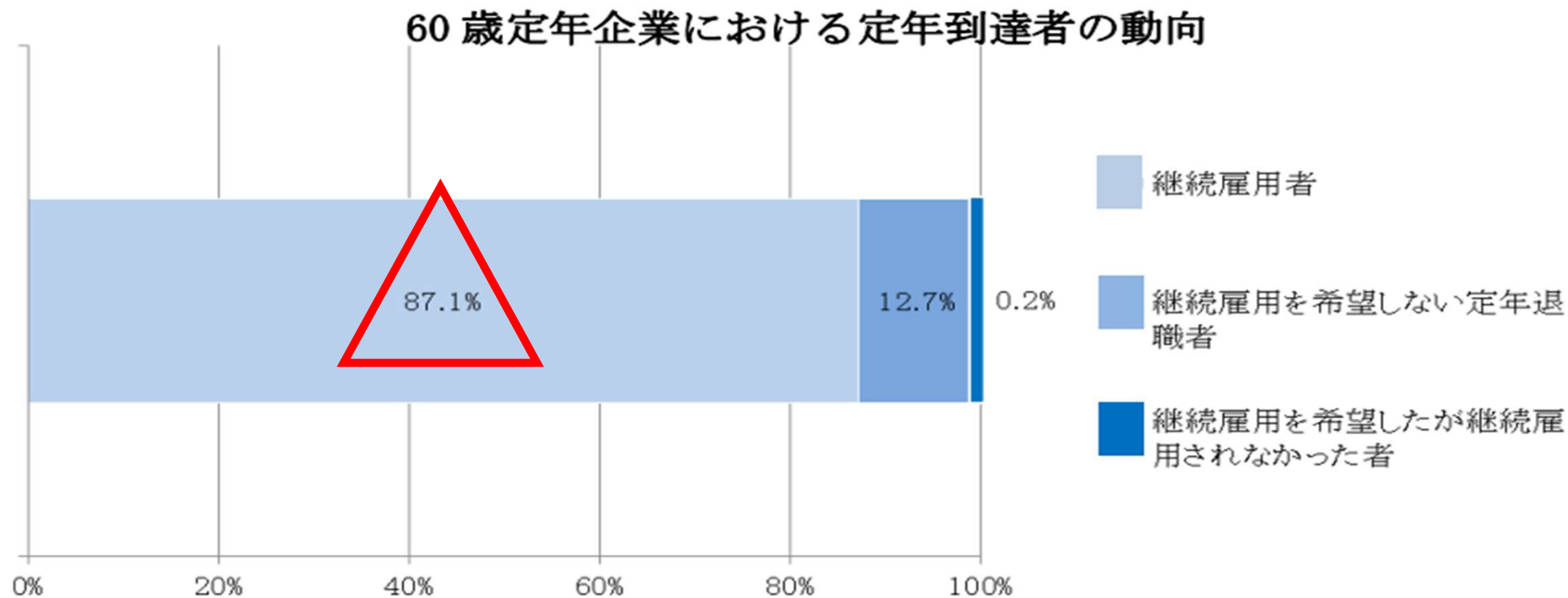


キャリアビジョンが明確だと言い切れる人は「ほんの一握り」・・・??



※数値は**50代男女会社員** 「定年後研究所アンケート調査（2022年8月）」より

60歳定年時に、87%の人が再雇用を選択 (実態は「選択」していない?)



厚生労働省「令和4年高齢者雇用状況等報告」集計結果

50代～会社員の課題は、 会社任せから、キャリア・オーナーシップへの転換

会社任せのキャリア形成

「自分」を置き去りにしていませんか？

- 自分のやりたいことと仕事が合致している？
- 自分ならではの強みや専門性を築けている？
- 会社や周囲からの評価に囚われていないか？
- 名刺抜きで、社外でネットワークを作れるか？
- 会社を卒業したとして、自分の役割や居場所を想像できる？

池口も自信はない

会社にキャリア形成を
委ねてきた弊害かも・・・

キャリア・オーナーシップ

自分の軸を持って、エネルギーを注ぐ対象を選ぶ

- ✓ 無理なく仕事を続けられる
- ✓ 新しく学びたいことが湧き出てくる
- ✓ 周囲からの評価が気にならなくなる
- ✓ 分野を超えて、自分を活かせるフィールドを見出せる
- ✓ 名刺を必要とせず、広く長く、社会との繋がりを保てる

人生のハンドルは自分で握る！
自分のキャリアは自らが選択する！

定年後研究所制作コンテンツ「ロールモデルに学ぶ」より抜粋

副業が解禁されても社員は動かず・・・??

< 2 0 1 8 年 >

< 2 0 2 1 年 >

< 2 0 2 3 年 >

副業
解禁率

50.9 %

55.0 %

60.9 %

副業
実施率

10.7 %

9.1 %

7.0 %

年代別
実施率
(2023年)

< 2 0 代 >

8.9 %

< 3 0 代 >

8.8 %

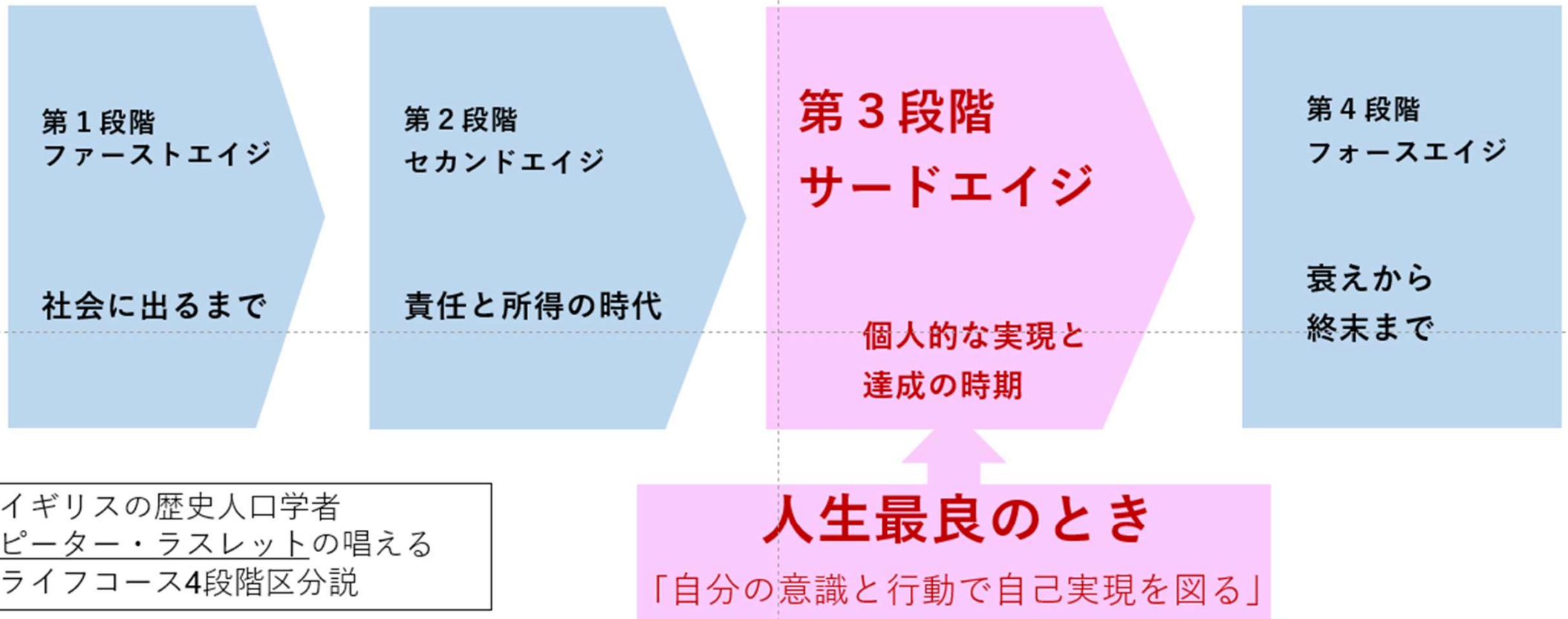
< 4 0 代 >

6.5 %

< 5 0 代 >

4.5 %

定年前後期からの「サードエイジ」は人生最良の時のハズ



イギリスの歴史人口学者
ピーター・ラスレットの唱える
ライフコース4段階区分説

でも、人生最良のときを体現しているロールモデルが見当たらない。。。
(長寿社会が与えてくれた史上初めての恩恵?)

そこで始めたのが、 「シニア世代のロールモデルのインタビュー」



2022年5月発刊

私見 卓見 「つなぐシニア」が日本を元気に 一般社団法人・定年後研究所所長 池口 武志

「働かないオッサン社員」など、
と揶揄（やめ）されがちな日本の
中高年サラリーマンであるが、生
産年齢人口が減少し、70歳までの
就業機会の確保が企業に求められ
る時代になって、シニア人材の生
産性向上は焦眉の急である。

筆者が所長を務める定年後研究
所は今年4月以降、多くの大手企
業の人事部担当者や中高年人材に
インタビュー調査した。その結果
シニアが必要不可欠な人材として
頼りにされている姿に、ある共通
項を見いだすことができた。それ
が「リエゾンシニア」である。

リエゾンとはフランス語で連絡
・連携・橋渡しを意味する単語だ。
大規模災害の発生時に、役所と災
害現場をつなぐ役割を果たす連絡
員という意味もある。我々が調査
で目にしたのは、本来なら分離し
がちな「アクター（要素）」をつな
ぐリエゾンの役割を果たしている
シニア人材たちであった。

長年勤めた大企業を離れ、農村
部の特産品と都市部の消費者をつ
なぐ活動をしたり、地域おこし協
力隊に参加したりするシニア人材
は農家から頼られる存在である。
企業の社会貢献部門と、個性が強
い人も多いといわれるNPO法人
の代表などのつなぎ役には、社
会貢献の意識が高くコミュニケー
ション能力にもけたシニア世代
がピッタリである。

人材サービス業界でも、定年後
の中高年人材を求めるスタート
アップ企業の間を仲介するのは、
シニアの内面を理解しているシニ
ア人材であるケースが多い。

企業でも自社のリエゾンシニ
アに熱い視線を送るケースが増え
てきている。競争力の源泉である
独自技術の伝承であったり、過去
の不祥事への対応経験から高いリ
スク管理能力で後進を指導したり。
先端のIT（情報技術）企業です
ら、顧客企業の業務フローに精通
したシニア社員接には顧客企業
のDX（デジタルトランスフォー
メーション）は進まないという。
長年の職業経験で培われた異質
な人とのコミュニケーション能力
や、人徳・品格、他者への貢献意
識などを備えたリエゾンシニアた
ち。彼らを社会全体で有効活用す
ることで、企業活力を呼び戻すだ
けでなく、社会が抱える課題の解
決にもつなげていくことが大いに
期待されている。

当欄は投稿や寄稿を通じて読者の参考になる
意見を紹介いたします。〒100-8066東京都
千代田区大手町1-3-7日本経済新聞社東京
本社13号館1系301号室katic@main.jp
本誌「私見卓見」一系301号室katic@main.jp
にバリエーションがあります。ぜひ反響もお待ちしております。

2021年7月9日 日本経済新聞

インタビューを通じて感じた「共通点」は、

中高年期の根底にある価値観

家族・友人など
人との繋がりを
大切にしたい

他者援助志向

他人からの感謝が
やりがい

新たなフィールドで
必要とされる喜び

社会善の追求

社会のために役立ちたい

主体的な学びの姿勢

いつまでも成長したい

60歳での修士論文「ホワイトカラー会社員の定年前後期のキャリアチェンジのプロセス」でも、共通点が。

< 研究対象 11名の共通点 >

- ①会社員として、仕事は頑張ってきた
- ②50代のキャリアの岐路で、悩み、葛藤しながらも、自分のこれからを考え抜いた
- ③そこで、**ブランドハプンスタンス**（偶然を活かす心構え）を体現した
- ④そして、**新たなフィールド**で視界がひろがった
- ⑤今では、**新たなフィールド**で生きがいを感じ満喫している

11名の「語り」の一部をご紹介します

新たな交流で視界が広がる
(やりたいこと「WILL」の発見)

『全く違う世界の人と一緒に勉強した。
ビジネスマンは自分だけだった』

『出向してみて視界が広がった。支店
にしているとどうしても…』

『仕事の傍ら、色んな会に顔をだすよ
うになってからです』

新たなフィールドで必要とさ
れる喜び
(自身の強み「CAN」の発見)

『自分が普通にやってきたことが、非
常に驚きだったり、新鮮だったりって
周りの人に言って頂いた』

『自分のやってきたことが意外なとこ
ろで役に立つんじゃないか』

『誰かが困っていて、自分に余力があ
るなら、その分助けてあげようと』

⇒越境体験（アウェイ環境での試し打ち）が自分発見へ

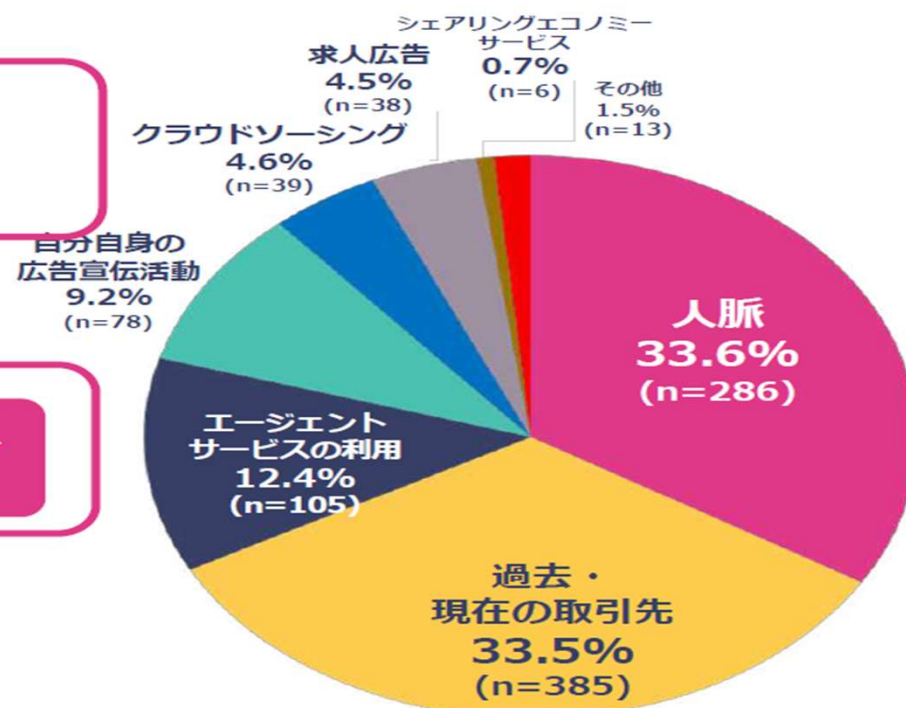
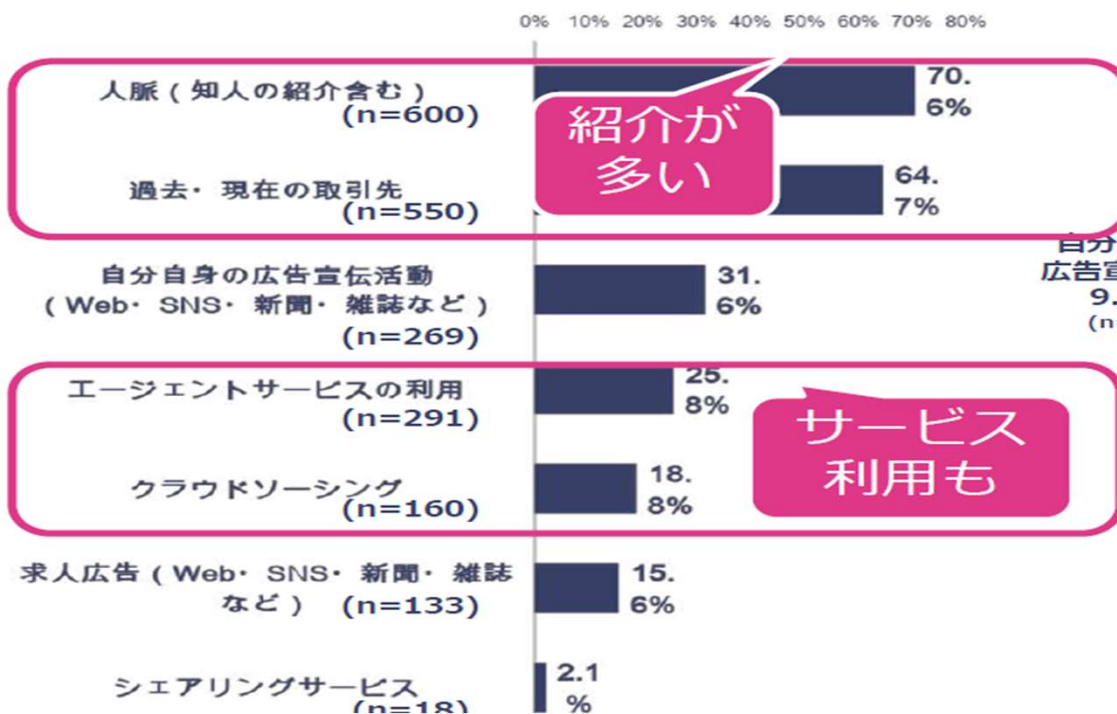
副業フリーランスから「試し打ち」してみても？



フリーランスの仕事獲得経路（再掲）

直近1年間で仕事獲得に繋がったことのあるもの
(複数回答) (n=850)

その中で、最も収入が得られる仕事の獲得経路(n=850)
(単一回答)



出典：一般社団法人プロフェッショナル & パラレルキャリア・フリーランス協会 早稲田大学CRC講座資料

自分が出来ることを認識する

自分の出来ること・得意なこと
求められていることは
「自分一人で考えてると気づきにくい」



人に聞く

他人に比べて
苦もなく
出来ること

褒められた
ことを
思い出す

頼まれること

<ご参考>

社会福祉法人からもシニア人材に熱いラブコールが、

<企業経験が福祉の仕事に活かせる点は？>

- ・福祉と違う考え方
- ・人間相手なので、多様な人間関係のご経験
- ・相手のことや、相手の立場を思いやる気持ち
- ・コミュニケーション能力、お客様対応力や接遇マナー
- ・社会福祉施設は「仕事のフィールド」が広いので、
経理、人事、ITスキルなどを管理部門の近代化や、職員教育など

<多様な働き方も大歓迎>

- ・ダブルワークが標準化しており、副業も歓迎
- ・まずは、そのままの姿をみてください

令和5年「企業から福祉現場への人材供給に関する調査」より抜粋（速報版）

<ご参考> 越境体験の探し方① 「地域デビュー講座」

地域しごとサポートセンター神戸 主催

人生100年
輝くシニアデビュー講座
～男の地域活動スタートアップ～

- ★自分自身の再発見
- ★新しい仲間作り
- ★地域活動への第一歩を

人生は
まだまだ
地域活動
飛び出

※この
輝く
奮闘
おや
企画



リタイア後の進路を迷っている方の
ヒントになる機会です。多様な地域での



**コミュニティ
ビジネス**

地域の課題を
ビジネスの手法で

夕食付き

**子どもの居場所
担い手 養成講座**

受講生
募集

いっしょに
宿題

いっしょに
ご飯

＼阪神青木駅前 /
夕食付き子どもの居場所を
スタート予定!

2023年 CS神戸が実施した地域課題に関する調査より
子ども・子育て支援分野に
おけるニーズ **ベスト 3**

1. 居場所・交流

14

仲間といっしょにグループを
つくり、活動しませんか?

<ご参考> 越境体験の探し方②

①産業雇用安定センター キャリア人材バンクへの登録

・福祉領域へのマッチング実績もあり

●60歳以上の在職者で、雇用期間の満了後に再就職を希望する方のキャリア・能力・就業希望等の情報を、事業主経由でキャリア人材バンクに登録します。また、事業主を経由せずに登録を希望する在職者および離職者について個人での登録も可能です。

※本事業の離職者とは、離職後1年以内の方をいいます。

●66歳以降も働き続けることが可能な求人情報（受入情報）を収集するとともに、その能力の活用を希望する事業者にも、登録者情報を活用して、就業を希望する登録者を紹介します。

②気になったNPOや社会福祉法人へ直接アクセスする

「楽しそう！」と思える活動をしている団体にアクセスする。試行錯誤はフットワークを軽く！

③地域の社会福祉協議会に問い合わせる



■令和4年度「川崎プロボノ部2022」実施結果

川崎市では、プロボノを活用した人材マッチング事業を「川崎プロボノ部」として実
ます。

令和4（2022）年度は、42名のプロボノワーカー（運営委員を含む）がチーム
9団体の運営上の課題解決につなげる活動を行いました。

令和4年度 川崎プロボノ部2022	
支援団体名称	支援内容
NPO法人 みずとんぼ	スペース活用
認定NPO法人 エンパワーメントかながわ	事務業務の効率化
認定NPO法人 かわさき創造プロジェクト	事業戦略